

# 卒業生と大学をつなぐ Communication leaflet vol.2

コミュニケーション・リーフレット

精密物質学科 www.sys.wakayama-u.ac.jp/mcl

2007.08 発行



## 【学部より】

### 学部長より



卒業生の皆様にシステム工学部のリーフレットをお送りする季節になりました。毎年300名を超える学生を社会に送り出し、多くの職場で高い評価を得ていることを誇らしく、心強く感じる次第です。

国立大学は法人化され、これまで以上に自主自律の心構えと具体的な取組が求められています。それには卒業

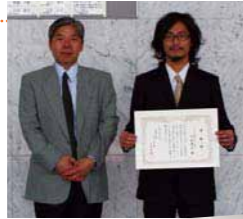
生とシステム工学部を強い絆で結び、卒業生の皆様に積極的に学部運営に参加して戴きたいと考えています。是非にシステム工学部を訪れ、成長した姿を確認して戴きたいと存じます。

教職員一同、皆様のお越しをお待ちしております。

システム工学部長 平田 健正

### 学生表彰

学部や大学院での研究発表(学会発表・論文)や活動(コンペ・コンテストなど)において、外部の団体から表彰を受けた際には、学部長(研究科長)から表彰される制度があります。昨年7月からの1年間で新たに21名の学生が表彰されています。



受賞した学生は、賞状の授与後にネームプレート前にて記念撮影を行うのが恒例になっています。



システム工学部 表彰			
氏名	所属	表彰理由	表彰者
坂本 直幸	システム工学部	第22回電気通信普及財団賞(テレコムシステム技術学生賞)	学部長
大塚 大輔	システム工学部	第22回電気通信普及財団賞(テレコムシステム技術学生賞)	学部長
横山 大輔	システム工学部	第22回電気通信普及財団賞(テレコムシステム技術学生賞)	学部長
山本 和子	システム工学部	第22回電気通信普及財団賞(テレコムシステム技術学生賞)	学部長

学部長表彰のネームプレート(システム工学部A棟ロビーに掲示)

## 【学科より】

### 学科長より



和歌山放送のラジオに出演中

### スタッフの異動

精密物質学科のスタッフ異動は右記のとおりです。

早いもので精密物質学科の1期生が入学してもう10年になります。初めの頃は、研究室どころか学生実験室も持たず、化学実験や物理学実験は教育学部のお借りして、夏の暑い時期に集中講義として行っていました。その頃のことを覚えておられる方も今となっては懐かし

く思い出されることと思います。現在は、研究室も研究設備も充実し、優れた業績が生まれてきています。機会があれば是非、古巣にもお立ち寄り下さい。

精密物質学科長 坂本 英文

大須賀 秀次 助教授：昇任 (H18.10.1)  
越野 和樹 助手：転出 東京医科歯科大学へ (H19.3.31)

伊東 千尋 教授：昇任 (H19.4.1)  
小田 将人 助教：採用 (H19.4.1)

## 01. “和歌山大学新駅(仮称)”, 新設予定!



南海電鉄本線に、「和歌山大学新駅(仮称)」が新設されるプロジェクトが進んでいます。3月25日に起工式が行われました。新駅は、線路とプラットホームの上をまたいで架けられた橋の上に駅舎が設けられる橋上駅タイプになる予定です。平成24年の春ごろの完成を目指した計画になっています。

## 03. 移動式キッチン装備車 Campus DELI<sup>3</sup>



キッチン装備のメリットを生かして、より美味しく温かいメニューを提供します。

Campus DELI<sup>3</sup>とは、移動式キッチンを装備した専用車で、昨年より活躍しています。大学のシンボルカラー調にあわせたオレンジの車体です。4～6月に、テイクアウト丼メニューを中心に出勤します。

## wakayama-university TOPICS

## 02. キャリアサポート室 開設



今年4月より、システム工学部内にキャリアサポート室を開設しました。毎日多くの学生さんが利用しています。

## 04. 和大オリジナルグッズ 展開中



〈左上〉和大煎餅  
〈上〉和大Tシャツ ▶和歌山大学実施のデザインコンクール「T-CUP」において優秀デザインを採用。  
〈左〉和大飴(蜜柑・柚子・桃・梅・いちご)  
他にも多数のオリジナルグッズを展開中です。詳しくは、和歌山大学生協HP ▶ <http://www.wu-coop.jp/logo/catalog.html>

## 【ご案内】

これからも、今回のようなリーフレットを皆さまに送付し、和歌山大学システム工学部と精密物質学科の情報を発信していきたいと考えています。それに際して、今後の送付先の確認の記入用紙と返

信用の封筒を同封させていただきます。添付のアンケートとともにご返信

いただきたく存じます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

### 編集

和歌山大学  
システム工学部 技術室

### 連絡先

〒640-8510  
和歌山県和歌山市栄谷 930  
和歌山大学システム工学部 精密物質学科事務室  
Tel:073-457-8270 E-mail: nohara@sys.wakayama-u.ac.jp

# Letter!

【研究室の近況】

from  
Laboratory

レター! フロム・ラボラトリー



## ナノサイエンスグループ



アクティブ  
マテリアル  
グループ

伊東教授

本年度より発足しました。「光、電場、磁場、熱や圧力などの刺激により物質を構成する分子ネットワークが変化し、性質が変化してしまう物質」をアクティブマテリアルと呼び研究対象にしています。このような物質の

制御方法(特に光による制御)、機能発現、新規材料の開拓を目指して研究を進めて行く計画です。11名(教員1名、M1:3名、B4:7名)で研究を進めています。



無機・錯体  
化学グループ

桶矢教授  
橋本准教授

平成18年度  
追出しコンパ

今年3月にM2:1名、4年生:9名が卒業しました。このうち博士前期課程に進学した者が7名と抜群の進学率です。在校生19名ですが、来年卒業予定者のうち就職希望者はすべて行先が決定しました。桶矢研では「プロト

ンスポンジ」を中心とする化学の研究が着々と進行しています。橋本研では、新しく導入された400MHzNMRを武器として「ヘテロポリ酸」の研究が進展しつつあります。

今年4月1日付で伊東千尋先生が教授に昇格され、これまでの光機能物性グループから独立して新たなアクティブマテリアルグループを立ち上げられました。

教員の異動では、物性理論グループの助手の越野先生が東京医科歯科大学の准教授で移られ、後任として本リーフレットにも自己紹介のある小田先生が助教で来られました。本学科は、教育・研究面でも着実に成果を重ねながら、就職率も非常に高い状態を維持しています。



光機能物性  
グループ

神野教授  
秋元講師

研究室で進めている「最先端 ESR 法によるナノ構造解析」の研究が本年度の文部科学省海外先進研究実践支援プログラムに採択され、8月下旬から来年の3月上旬までの6ヶ月間、秋元郁子先生がオランダ王国ライデン大

学に出張されます。高周波パルス電子スピン共鳴法による電子スピンマッピングについて共同研究を行う予定です。ライデン市はシーボルトが帰国後滞在した日本とゆかりの深い大学街です。



物性理論  
グループ

篠塚教授  
小田助教

2006年夏の  
3年生歓迎バーベキューの様子

この春、越野和樹先生が東京医科歯科大学に栄転され、替わって小田将人先生が物質材料研究機構から助教として赴任されました。小田先生は第一原理計算に基づく光物性理論が専門で、

対象物質も有機物までカバーし、当理論グループの研究スペクトルが広がりました。現在、学生はM2が2名、M1が2名、学部4年5名で、後期から3年生が5名ほど入ってくる予定です。



構造有機化学  
グループ

中西教授  
奥野准教授  
林助教

研究室の風景とゼミアルバム

実験化学と計算化学の融合を目指してもうすぐ10年です。今では計算化学が、実験化学を先導して大きな成果を生んでいます。国内外からも多くの共同研究の依頼を受けてうれしい

悲鳴をあげています。17名(院生9名、学部生8名)の元気いっぱい学生さんと、楽しくゼミ活動をしています。この6月には、4名の学生さんとポランダの国際学会で発表しました。

## ナノテクノロジーグループ



半導体グループ

田中教授  
木田准教授  
宇野准教授

平成18年度  
卒業生・修了生

今年もメンバーは教員3名(田中・木田・宇野)と学生16名(院生6名、学部生10名)です。2年前からソフトウェア設計Gおよび和歌山県工業技術センターと共同で始めた有機トランジスタの研究が少しずつ進展

し、今年度からわかやま産業振興財団を中心としたプロジェクトに参加しました。その他にもいろいろと成果が出ていますので、たまにはホームページを訪れて下さい。



物理化学  
グループ

山門准教授

この春には奥田君、塩崎君が研究室を訪ねてくれ、またお目出度い知らせも聞けました。物理化学 Gr. は、現在M2:2名(柴谷、前田)、M1:1名(時子山)、B4:5名(金田、岩崎、竹内、田代、野川)

と私の計9名で研究を進めており、この秋には分子科学討論会(仙台)での発表予定があります。昨冬には久しぶりにスキーに行きました。



分析化学・  
機能有機材料  
グループ

木村教授  
矢嶋准教授  
中原助教

本年度メンバー集合写真

当研究室では、生体および環境における分離、分析、計測、センシングのための高機能材料を分子設計し、応用することを目指しています。今年には社会人ドクター1名が新たに加わり、総

勢20名超の大所帯で活発に研究を行っています。最近では、生体に直接適用可能となるバイオマテリアルに関する研究もスタートさせました。



ソフト  
マテリアル  
設計グループ

坂本教授  
大須賀准教授

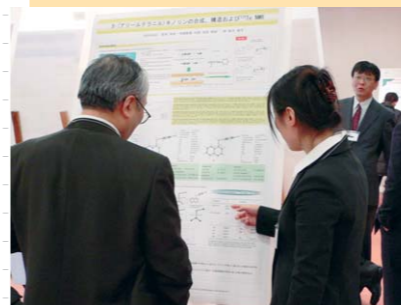
高機能性を備えた新規な有機高分子或いは超分子を開発することを目指しています。具体的には、生体高分子の性質や動きを模した高分子や生体適合性を持つ分子集合体の開発を進めています。また、次世代ディスプレイ

材料として期待されている有機EL分子とその高分子の合成、金属イオンやDNAと相互作用するヘリセン誘導体分子などの合成と評価を行っています。D3:1名、M2:6名、M1:3名、4年7名の陣容です。

## Look!

## 学科活動

### 卒業研究 発表会



先生からの厳しい質問に難なく答えています(?)

精密物質学科では、卒業研究発表会を広く外部に公開し、一般の方にも自由に聴講、見学することができるようにしています。

平成18年度の精密物質学科卒業研究発表会は、2007年3月1日(木)に和歌山ビッグ愛で行われまして。午前の部と午後の部の2グループに分かれ、それぞれ200名以上収容できるような立派な会場に移動してポスター発表を行いました。

参加していただき(30名)、ポスター発表で質問をしていただけました。また、先生方の厳しい質問の他にも、学生間(特に修士の先輩方)でも色々な質問が飛び交いました。

研究発表の後は、外部の企業の方々も交えて懇親会が開かれました。ここでは、学科長の神野先生から講評をして頂いたほか、先生方の投票で選ばれた優秀な発表について表彰が行われ、副賞として図書カードが贈られました。懇親会の後は、ほっと一息ついて、みんなで



アイスホッケーに興じる小田助教

### 新任教員紹介

今年から、物性理論研究室に小田将人(おだまさと)が加入しました。これまでずっと関東にいたので、和歌山に来る前は不安でしたが、だいぶ慣れてきました。専門は第一原理計算という手法を用い

民間企業等の外部の方々も数多く